

令和の日本型教育が進んでいます！

ICT 機器を活用しながら全国の学校で急展開がなされているのが「令和の日本型教育」と言われているものです。①**個別最適な学びの実現**（一人ひとりに応じた学びの展開）と、②**協働的な学びの実現**（子どもたちが友達とかかわりあいながら学びを深めていく）が大きな二本柱となっています。簡単に言えば、「個」の関心や課題に沿った学習と、仲間との「協働」による学びを同時に進めて、「主体的・対話的で深い学び」を目指していこうという取り組みです。

本校でも全学年でタブレットを活用し、一人ひとりの学びのスピードに合わせて学ぶ姿、友達と関わりあいながら学ぶ姿、タブレットを文房具として活用している姿がたくさん見られます！



1年生

1年生もタブレットを使ってドリル学習！

「eライブラリ」というソフトを使って自分の学びを自分のペースで深めています。初めてのタブレット学習に、大変意欲的です！



4年生

4年生は、ゴーヤの生長をタブレットで記録しています。

必要な時にいつでも見ることができるし、アップもできる。とても便利です！活用の幅が広がります。



6年生



6年生は、タブレットに自分の思いを書き込んで、友達と共有して友達の意見を見たり自分の考えと比べたりしています。友達の考えを見ることで自分の考えが広まったり、違う視点に気づいたり、分からないところを質問したりと、学びが深まっています。